

豊かな実りは自然の土壌から



アープ・トーマス・オルガ菌と共に土づくりから
土づくりは、作物を健康に育てる基本です。

この基本を大切に当社は自然環境農法を推進致しております

果樹類栽培の使用方法

標準的な使用方法 (10 当たり)

回数	散布時期	通常使用方法	病害発生圃場《紋羽病》
1 回目	前作収穫後	1. お礼肥時に堆肥等と一緒にトーマスくんと宝水を原液量 6~7ℓ ずつ混合し希釈 (200~1000 倍) 全面散布。 2. 事前に堆肥づくりに使用可。	紋羽病改善には素晴らしい結果を発揮しております相談下さい。
2 回目	開花期前	トーマスくんと宝水を 2~3 ℓ 混合し、水量多目で葉面から全体に。	
3 回目	果形成期	トーマスくんと宝水を 2~3 ℓ 混合し、水量多目で葉面から全体に。	

使用 2~3 年目や、健全な圃場では上記の 5~6 割目安でも十分です。

施肥関係

現行の施肥方法で良いですが、堆肥は (炭素率を考査して) 1~3t 位を使用した方が微生物、土づくりには良いですからお勧めします。

化成肥料施肥の方は 2~5 割程度少な目 (堆肥量により異なり) で良いと思います。

参考に

- ※ 紋羽病対策にも素晴らしい抑制効果が期待できます。
- ※ 梨などの、芯腐れ症対策にも期待できます。
- ※ 農薬使用回数が軽減される様になります。

(株)バイオ・グリーン

